



豊里

交通安全の願いを短冊に込め

秋の交通安全運動「豊里地区合同出発式」は9月21日、JAみやぎ登米豊里支店前で行われ、豊里町交通安全母の会や交通安全協会豊里支部など、関係者50人が参加し、交通安全を呼び掛けました。
交通安全運動では、手作りの折り鶴短冊に無事故の願いを込め、信号待ちのドライバーに配付する「短冊無事故作戦」を実施。「着ぐるみ作戦」ではサルとトラの2匹が、ドライバーに手を振って交通安全をアピールしました。

小・中学生力士の白熱した戦い

「第12回丸山杯少年相撲大会」(登米市米山相撲協会・道の駅米山ふる里センターY・Y・第3代横綱丸山関頭彰会主催)は9月9日、道の駅米山にある相撲場で開かれ、県内各地の小・中学生約50人が参加しました。
相撲大会は、米山町出身で第3代横綱、丸山権太左衛門の頭彰、相撲の普及・発展や児童・生徒の健全育成が目的。熱のこもった迫力ある取り組みに、観客席から大きな声援と拍手が送られていました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

いつまでも元気で健康生活を

「第64回登米市はさま女性のつどい」(同実行委員会主催、高橋信子実行委員長)は9月8日、迫公民館で開かれました。
女性のつどいは、参加者の交流と意見交換、連帯意識を高めることが目的。今年は身近な課題である地域医療をテーマに、登米市民病院の松本宏院長と看護部長の講話やレクリエーションインストラクターから転倒予防運動などを学び、意見交換しながら健康意識を高めました。



石越

雄大な自然の中で親睦深める

「石越地区市民登山」(石越コミュニティ運営協議会・登米市石越地区体育協会・登米市スポーツ少年団石越支部・いしこしENJOYクラブ主催)は8月26日、栗駒山で開かれ、石越地区の住民など24人が参加し、登山を通じて親睦を深めました。
当日は、雨が降ったりやんだりといくの天候のため、頂上まで登ることはできませんでしたが、声を掛け合いながら、登山ならではの連帯感を共有しました。

運動会復活16年前の競技再現

「登米中学校運動会」は9月2日、登米中学校(小野寺彰哉校長、生徒108人)で16年ぶりに開かれ、生徒らが元気に競技に参加しました。
運動会は、16年前に実施していた種目を生徒が調べて再現。背中渡り、ムカデ競争や障害物競争などで競いました。また、地域住民の指導を受け披露された、とよま囃子踊りには保護者も参加し、生徒と一緒に運動会を楽しんでいました。



登米

道路で実践 交通ルールを学ぶ

西郷小学校(小野寺由子校長、児童89人)の「秋の交通安全教室」は9月20日、秋の交通安全市民総ぐるみ運動に合わせて実施されました。
教室は交通ルールを守ることの大切さや安全な自転車の乗り方を理解し、交通事故に遭わないようにすることを目的に開催。1、2年生は正しい歩行、3年生以上は、自転車の安全な乗り方を周辺道路で体験しました。子どもたちは、緊張しながらも楽しく交通ルールを学びました。



南方



東和

恒久の歴史を伝承し練り歩く

「綱木之里大名行列」は9月16日、東和町米川の市街地で開かれ、大名行列保存会の会員や米川八幡神社氏子役員のほか、近隣の子もたちが参加しました。
大名行列は約450年伝承されている、市指定の無形民俗文化財。奴の威勢のいい掛け声とともに、長さ3mを超える毛槍と呼ばれる長槍を投げ渡す「お取り替え」や鮮やかな衣装を身にまとった稚児行列に、観客から大きな拍手と歓声が送られていました。



津山

マージャン楽しみ認知症予防

「健康マージャンの会」(登米市社会福祉協議会津山支所主催)は、高齢者の趣味活動を支援するため、昨年11月から毎週水曜日に津山老人福祉センターで開催し、参加者同士が交流を楽しんでいます。
参加者の中には未経験者も多く、アドバイスを受けながら挑戦する人も。「認知症予防になるから」と週1回の開催を楽しみにしています。また、第2・4水曜日には手芸教室を開き、小物作りも実施しています。

体育祭でスポーツの秋を満喫

「第12回上沼コミュニティ体育祭」(上沼コミュニティ運営協議会主催、浅野盛志会長)は9月16日、上沼小学校で開かれ、約1100人が参加し、心地よい汗を流しました。
体育祭は、行政区対抗で実施され、親子で協力しながらパン食い競争やあめ玉探しをする親子リレー、二人三脚でゴールを目指すデカパンリレーなど、世代を問わず楽しめるユニークな8種目で競いました。参加者は、運動を通して地域の交流を深めながら、スポーツの秋を満喫していました。



中田